

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年12月25日 (2008.12.25)

【公開番号】特開2007-130085(P2007-130085A)
 【公開日】平成19年5月31日 (2007.5.31)
 【年通号数】公開・登録公報2007-020
 【出願番号】特願2005-324009(P2005-324009)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/06 (2006.01)

G 0 2 B 23/26 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 0 0 Y

A 6 1 B 1/06 A

G 0 2 B 23/26 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月5日 (2008.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】電子内視鏡および光学アダプタ

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

管腔に挿入可能な挿入部と、

L E D 発光素子からなる照明手段を有する前記挿入部の先端に着脱自在に装着される光学アダプタと、

前記照明手段により照明された被検体を撮像する撮像手段と、

前記挿入部の基端に設けられたコネクタ部と、

前記コネクタ部内に配置され、前記照明手段を駆動する照明駆動手段と、

前記照明駆動手段の駆動条件を調整する駆動調整手段と

を備えたことを特徴とする電子内視鏡。

【請求項 2】

前記照明手段は、複数の L E D 発光素子からなる

ことを特徴とする請求項 1 に記載の電子内視鏡。

【請求項 3】

前記照明駆動手段は、定電圧回路及び定電流回路より構成される。

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子内視鏡。

【請求項 4】

前記駆動調整手段は、前記定電圧回路または前記定電流回路の少なくとも一方の出力値を前記駆動条件として調整する

ことを特徴とする請求項 3 に記載の電子内視鏡。

【請求項 5】

前記照明駆動手段は、

前記撮像手段からの撮像信号を信号処理する信号処理装置と接続可能であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 に記載の電子内視鏡。

【請求項 6】

前記照明駆動手段は、前記光学アダプタ内に配置される

ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 に記載の電子内視鏡。

【請求項 7】

前記照明手段の前記 L E D 発光素子の構成種別を識別する識別手段と、

前記識別手段の識別結果に基づき、前記駆動調整手段を制御する制御手段と

をさらに有することを特徴とする請求項 1 乃至 6 に記載の電子内視鏡。

【請求項 8】

管腔に挿入可能な挿入部の先端に着脱自在に装着可能に構成され、

L E D 発光素子からなる照明手段と、前記照明手段を駆動する照明駆動手段と、前記照明駆動手段の駆動条件を調整する駆動調整手段と

を備えたことを特徴とする光学アダプタ。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

本実施形態にかかる電子内視鏡は、管腔に挿入可能な挿入部と、L E D 発光素子からなる照明手段を有する前記挿入部の先端に着脱自在に装着される光学アダプタと、前記照明手段により照明された被検体を撮像する撮像手段と、前記挿入部の基端に設けられたコネクタ部と、前記コネクタ部内に配置され、前記照明手段を駆動する照明駆動手段と、前記照明駆動手段の駆動条件を調整する駆動調整手段と、を備えて構成される。